

# かがやき

～ 時を守り、場を清め、礼を正す ～

令和2年5月14日  
第7(103)号  
文責：学年主任

## 3年生の登校日

～ その日その日を大切に過ごす大切さ ～

**来週18日(月)から22日(金)までの1週間は、「3年生は登校日を週3日」設定します。**  
(登校日は18日(月)、20日(水)、22日(金)です)

**再来週25日(月)から29日(金)までの1週間も、「3年生は登校日を週3日」設定します。**  
(25日(月)、27日(水)、29日(金)です)また、今までのようにこれらのすべての期間は、「半日程度、給食なし、部活動なし」となります。(中1、中2も週2回の登校となります)

**ただし、5月31日の前に、「緊急事態が解除」になった場合は、この日程が変更になるかもしれません。**その時は学年通信、メール等でお知らせします。

### 登校するにあたっての確認・注意事項

**(1) 登校日について 令和2年5月18日(月)**  
**(18日、帰りの学活で基礎学力コンテスト漢字を実施、10分下校繰り下げ)**  
**20日(水)**  
**22日(金)**

**(2) 登校する生徒について** (家を出る時からマスクをかならず着用する)  
① 午前の部 ○各学級の出席番号偶数(ぐうすう)の男子  
○各学級の出席番号奇数(きすう)の女子  
② 午後の部 ○各学級の出席番号奇数の男子  
○各学級の出席番号偶数の女子

**(3) 服装について** ○背負いカバン ○制服、マスク

**(4) 持参物について** ○スマイルライフ ○運動着(必要に応じて)  
○筆記用具 ○授業の準備  
○検温表 ○道徳ノート  
○実力テストの成績表(みどり色のファイル)  
○指定の課題

### 【特に注意すること】

- 今年度の「時間割」にしたがって授業を行います。
- 各教科員(学級の代表者)は、**事前に**内容・準備物を確認して下さい。

5月の生活目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ いじめのない、楽しい・美しい・あたたかい学校・学年・学級をめざす集団作り に努力する。</li> <li>○ 学校生活の時間を守り、無言移動、無言整列、無言清掃、自問清掃に取り組む。</li> </ul>
来週の生活目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 特に、<b>休日の学習や生活の計画</b>をちゃんと立て、充実した毎日を過ごす。</li> <li>○ 時間を大切にする意識を持つとともに、<b>授業を真剣に</b>受ける。</li> <li>○ 健康の保持に努める。</li> </ul>

時程・行事予定(内容)	お知らせ(お願い)
-------------	-----------

午前の部

- ～ 8:00 登校完了
- 8:05 ～ 8:10 短学活
- 8:15 ～ 9:00 学習①
- 9:10 ～ 9:55 学習②
- 10:05 ～ 10:50 学習③
- 10:55 ～ 11:05 短学活
- 11:05 ～ 11:15 下校完了

午後の部

- ～ 13:00 登校完了
- 13:05 ～ 13:10 短学活
- 13:15 ～ 14:00 学習①
- 14:10 ～ 14:55 学習②
- 15:05 ～ 15:50 学習③
- 15:55 ～ 16:05 短学活
- 16:05 ～ 16:15 下校完了

### 【実施する授業】

午前の部・午後の部 **共通事項**

日(曜)	学習①	学習②	学習③
18日(月)	木の1	木の2	木の3
20日(水)	月の1	月の2	月の3
22日(金)	火の1	火の2	火の3

- ◇ 『3密』は避ける。ベタベタしない。
- ◇ 忘れ物をしない。真剣に授業を受ける。
- ◇ 体調不良の時は無理しない。(検温を実施)
- ◇ 安全に登下校する。

### 【保護者の皆様へ】

◇ 「慣らし登校」を兼ね、いよいよ登校が開始となりました。最上級生らしい「骨太の若者」に成長してくれることを期待し、信じその日その日を頑張りたいと思います。

◇ 福島県は5月31日(日)まで、「緊急事態」を継続しています。しかしながら状況を見ながら、前倒しで解除することも予想されます。そうなった場合、25日(月)からは、「普通登校」という可能性も皆無ではありません。

とはいえ、現段階では「近い将来」どのような体制で授業の再開となるのかは、全くの不透明な状況です。国、県、市の指示・指導を受け、本校として最大限生徒の安全・安心を最優先に考慮して本当の再開をしたいと考えています。

本学年は言うまでもなく、「受験学年」であり、「最上級生」であります。「毎日毎日」つまり、「その日その日」を精一杯過ごすことしかできることはありません。生徒たちには「長い長い人生」の少しの期間だと思えますので、「その日その日に焦点」をちゃんとあてて前進してほしいと願っています。